

ブイゲットプリンスリン バーL粒剤

[フィプロニル・チアジニル・フラメトピル粒剤]

農林水産省登録	第22010号
有効成分	フィプロニル…1.0% チアジニル…6.0% フラメトピル…4.0%
性状	淡褐色細粒

安全性：普通物（毒劇物に該当しないものを指している通称） 危険物：- 有効年限：4年 包装：1kg×12(紙パック) RACコード：殺虫[2B]殺菌[P3][7]

特長

- 育苗箱処理により、いもち病、紋枯病、白葉枯病、水稲主要害虫を同時防除できる。
- ブイゲットは稲をいもち病、細菌病にかかり難くする作用性（病害防除機能の増強）を有しており、耐性菌出現リスクが低く、既存剤に耐性のいもち病にも有効で、安定した効果が長期間持続する。また、白葉枯病、もみ枯細菌病等の細菌性病害にも有効である。
- プリンスは、幅広い殺虫スペクトルを有し、安定した防除効果が長期間持続する。

効果、薬害等に関する注意事項

- 使用量に合わせ秤量し、使いきる。
- 育苗箱の上から均一に散布し、葉に付着した薬剤を払い落とし、軽く散水して田植機で移植する。
- 稲の葉が濡れている場合には、散布前に葉に付いている露を払い落としてから薬剤を散布する。
- 軟弱徒長苗、むれ苗又は苗の生育が不良な場合には、薬害を生じるおそれがあるので注意する。
- 育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5ℓ）1箱当りに乾糞として200から300g程度を高密度には種する場合は、10a 当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が 1kg/10a までとなるよう、育苗箱1箱当りの薬量を50から100gまでの範囲で調整する。
- 本田の整地が不均整な場合は、薬害を生じるおそれがあるので、代かきはていねいに行い、移植後に田面が露出しないよう注意する。
- きく等の他作物に影響を及ぼす場合があるので、薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように散布する。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

安全使用上の注意事項

- フィプロニルによる中毒に対しては、動物実験でフェノバルビタール製剤の投与が有効であると報告されている。
- 眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意する。

水産動植物に対する注意事項

- 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意する。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さない。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。

適用内容

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フィプロニルを含む農薬の総使用回数	チアジニルを含む農薬の総使用回数	フラメトピルを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	いもち病 紋枯病 ウンカ類 ニカメイチュウ イネミズゾウムシ イネドロオウムシ コブノメイガ イネツトムシ 白葉枯病	育苗箱 (30×60×3cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当り50g	緑化期～ 移植当日	1回	本剤の所定量を育苗箱中の苗の上から均一に散布する。	1回	3回以内 (移植時までの処理は1回以内、本田での散布は2回以内)	2回以内 (移植時までの処理は1回以内)
		高密度には種する場合は1kg/10a (育苗箱 (30×60×3cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当り 50～100g)						
	もみ枯細菌病	育苗箱 (30×60×3cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当り50g	移植3日前～ 移植当日					
		高密度には種する場合は1kg/10a (育苗箱 (30×60×3cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当り 50～100g)						
	内穎褐変病	育苗箱 (30×60×3cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当り50g	移植当日					
		高密度には種する場合は1kg/10a (育苗箱 (30×60×3cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当り 50～100g)						

製品写真



最新の登録内容はこちら

